

# 乳がん治療 私たちは選択できるの？ —多様性と選択—

聖マリアンナ医科大学附属研究所ブレスト&イメージング

先端医療センター附属クリニック  
福田 譲



# The New York Times

LOS ANGELES



MY MOTHER fought cancer for almost a decade and died at 56. She held out long enough to meet all of her grandchildren and to hold them in her arms. But my other children will never have the chance to know her and OP-ED CONTRIBUTOR and gracious:

## My Medical Choice

We often spe

By ANGELINA JOLIE

Published: May 14, 2013

1712 Comments

mommy," and I try to explain the illness to my children from us. They have no idea what could happen to me, or what might

happen to them if I get sick.

It's a scary thought, but it's also a reality.

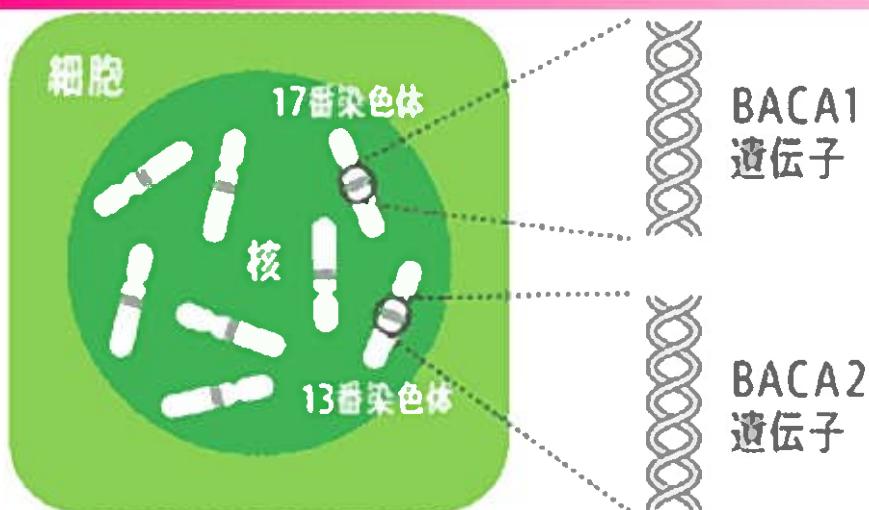
I'm not talking about breast cancer. I'm talking about my own personal choice to undergo a double mastectomy.

It's a decision that I've been thinking about for a long time.

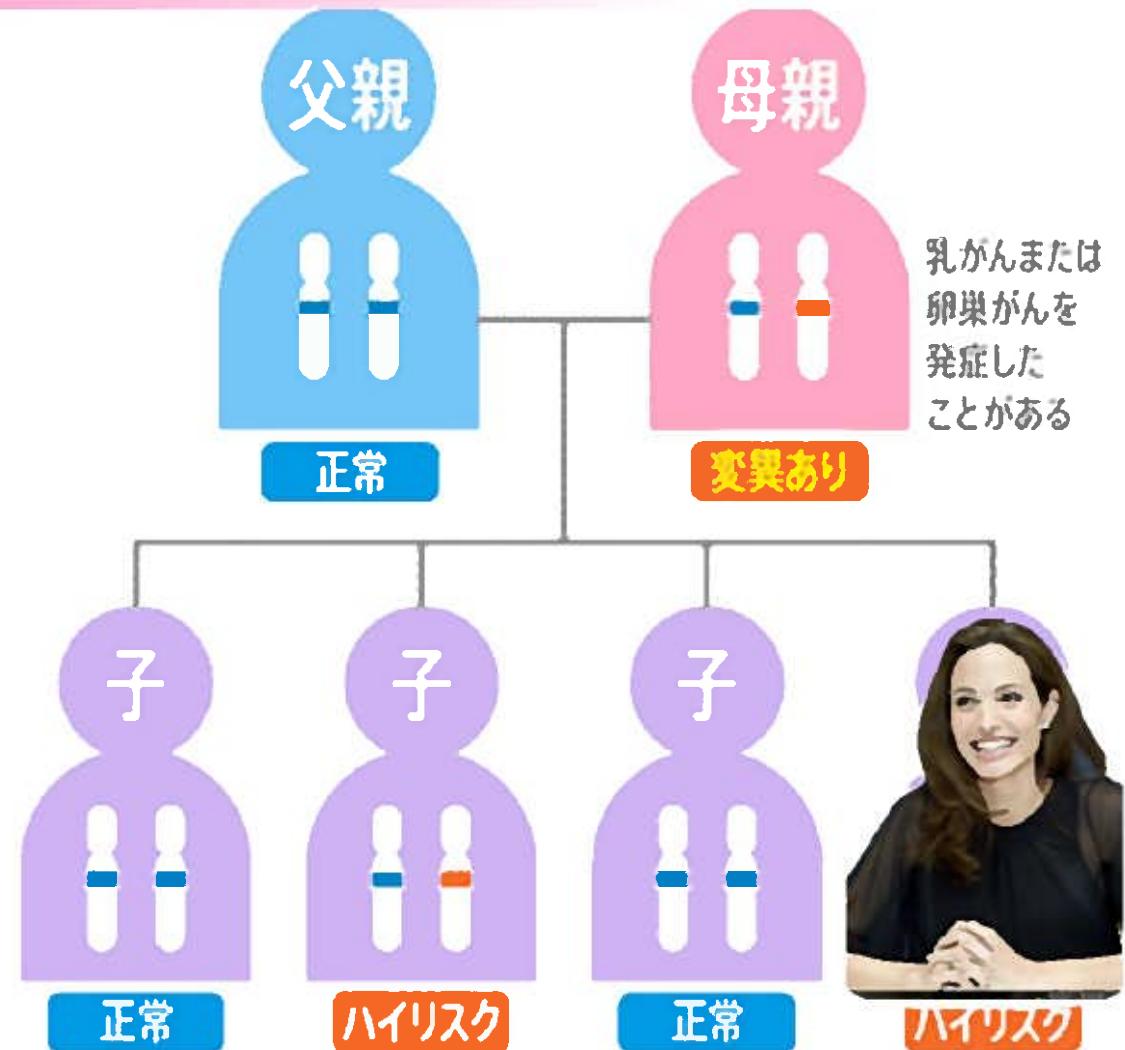
But it's a decision that I've finally made.



# 私の「選択」



- 正常な  
BACA1 (または2) 遺伝子
- 病的に変異のある  
BACA1 (または2) 遺伝子



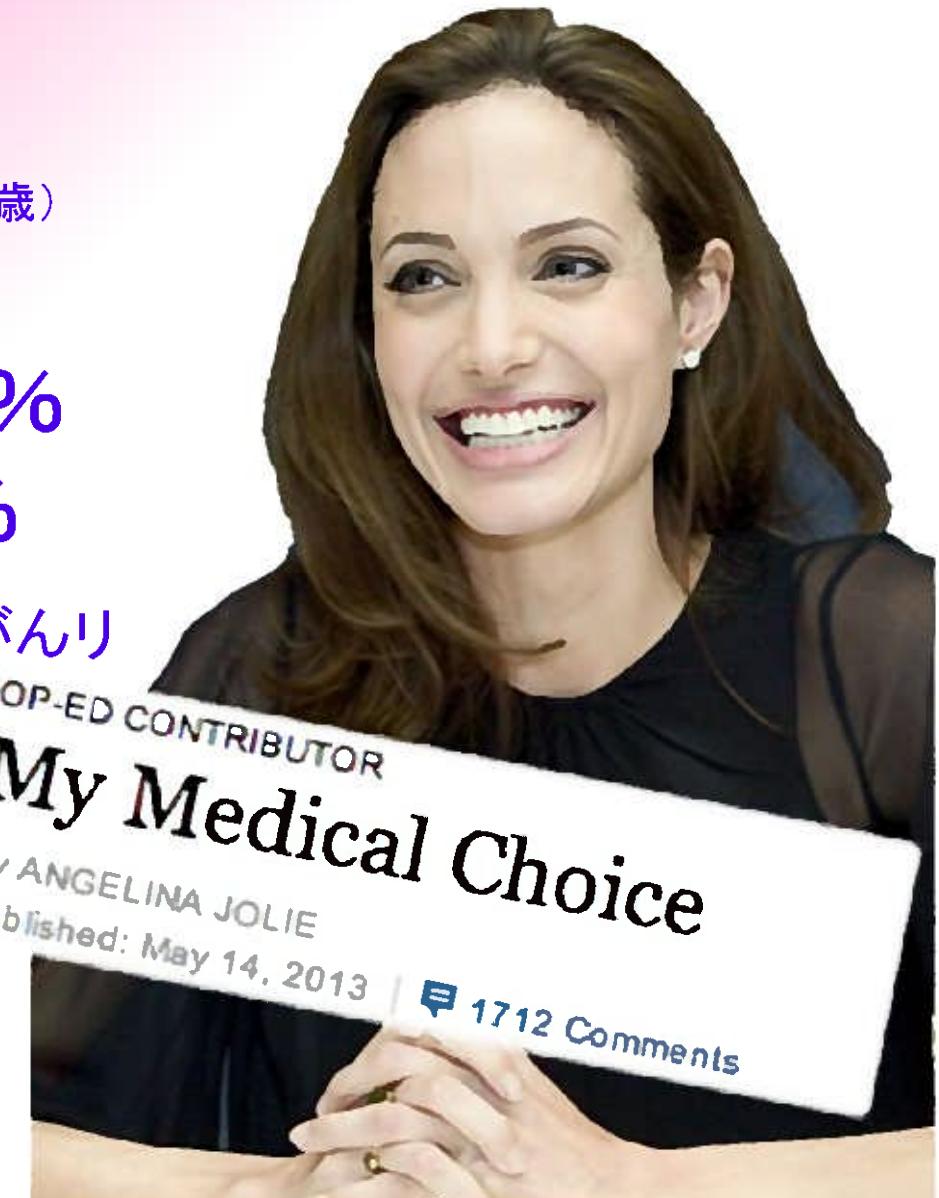
- 正常** : 乳がん・卵巣がんの発症リスクは一般と同じ
- ハイリスク** : 乳がん・卵巣がんの発症リスクが一般より高い

BACA1、BACA2遺伝子は、ともに常染色体優性で遺伝するので、母親に病的な遺伝子変異がある場合、子に伝わる確率は50%です。母親のBACA1またはBACA2遺伝子に病的な変異が見つかれば、この検査前のリスク診断が可能になります。

# 私の「選択」



母が乳がんで死去 56歳  
叔母が乳がん(寄稿2週間後に死去 61歳)  
BRCA1遺伝子に変異  
自分の乳がん発症リスク 87%  
卵巣がん発症リスク 50%  
予防的両側乳房切除術で乳がんリスクが5%に減る  
予防的卵巣摘出術も受ける予定  
子供、夫(Brad Pitt)がいる



# The New York Times

LOS ANGELES

 [Enlarge This Image](#)

MY MOTIVATION

両側予防的乳房切除術＋再建を選択

「お母さんが乳がんで死ぬかもしれない、心す」

小さな傷以外、いつものママであり、そして女性である

この寄稿文で、皆さんに治療の選択肢があることを知ってもらうことを願っている



乳がんは多様です  
各人の乳がんの遺伝子は多様です



# 乳がんは4つのタイプに分類

	ER陽性 (あるいはPgR陽性)	ER、PgR陰性
HER2陰性	ルミナール A 65-70%	Basal-like 10-15%
HER2陽性	ルミナール B 10%	HER2 Type 10%

ER:エストロゲンレセプター

PgR:プロゲステロンレセプター



# 乳がんは4つのタイプ別に治療

治療は4つのサブタイプで行う

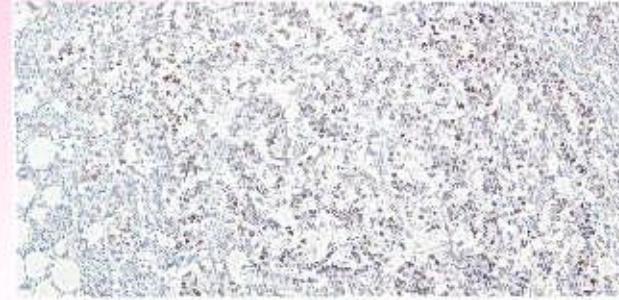
- \* Luminal(ルミナール)A : ホルモン療法
- \* Luminal(ルミナール)B
- \* HER2- : ホルモン療法+化学療法
- \* HER2+ : 化学療法+ハーセプチ+ホルモン療法
- \* HER2 : 化学療法+ハーセプチ
- \* Basal-like : 化学療法



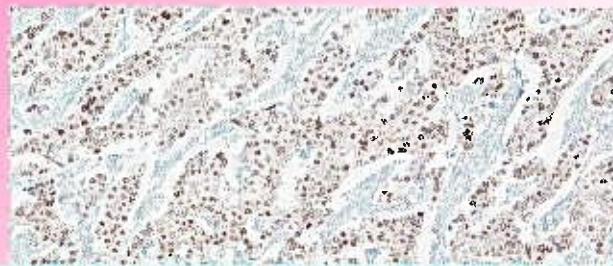
# エストロゲンレセプター判定基準 日本乳癌学会



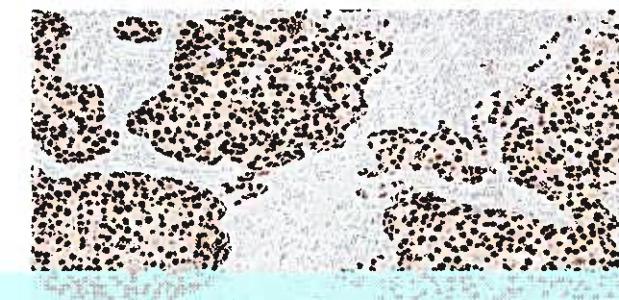
陰性:0%



弱陽性:10%未満



陽性が強いほど



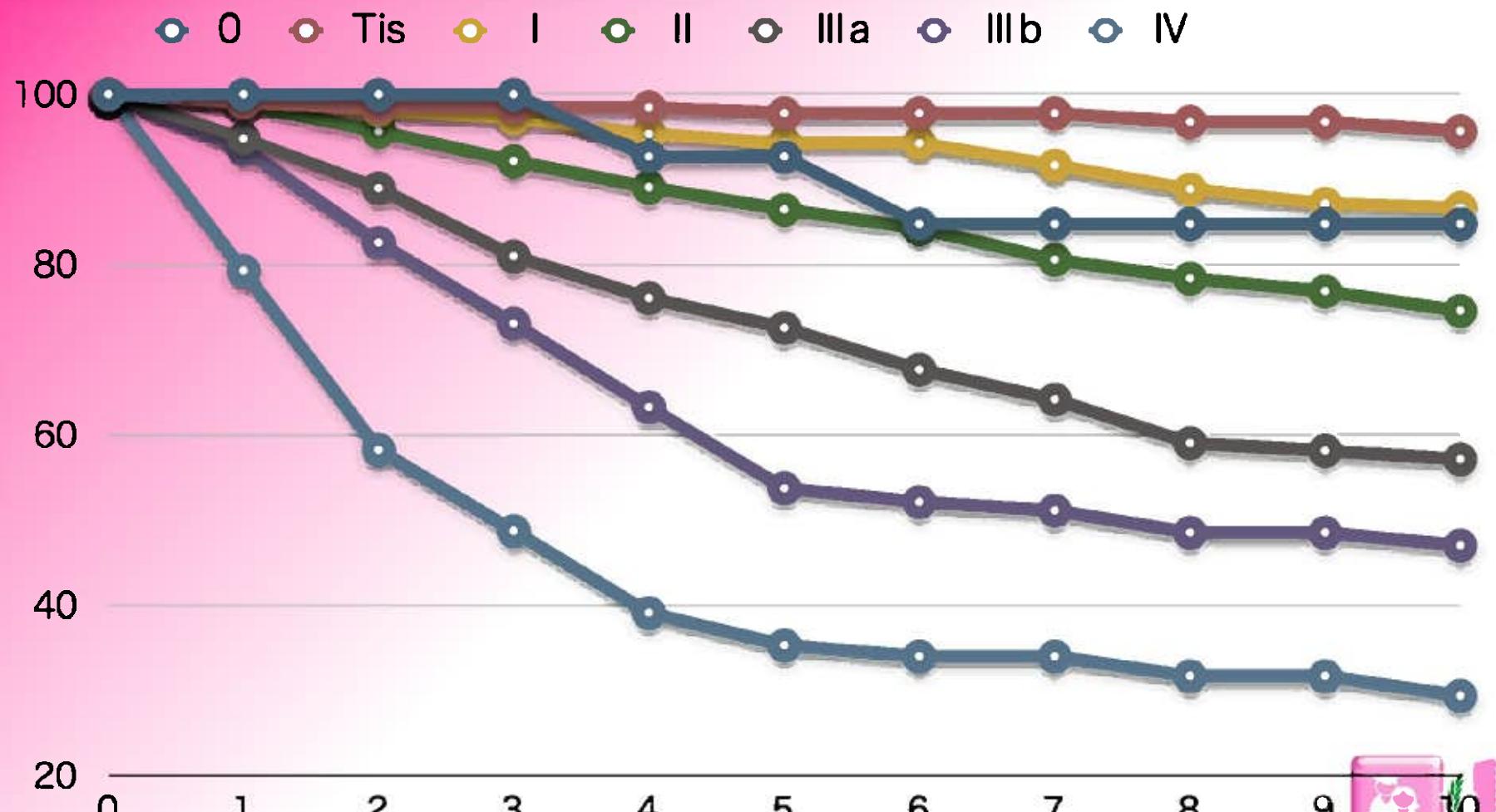
中等度陽性:10%以上  
ホルモン療法の効果が期待できます  
同じサブタイプに属しても大きな差があります

ホルモンレセプター判定マトリクス 第1版  
ホルモンレセプター病理会議会作成 2005年6月

# 患者さんの病状は多様です



## 乳がんのステージ別10年生存率



患者さんの考え方、生き方は多様です  
それぞれの患者さんに適切な治療の選択が行われます



# Evidence Based Medicine(科学的根拠に基づく医療)

- EBMとは、疾患の特性に対して、現在入手可能な最良のエビデンス(人を対象とした臨床試験の結果)、医療者側の技能、患者の価値観と希望、医療資源を統合しておこなう医療のことである。
- エビデンスだけの医療ではない。

患者の価値観、希望



エビデンス

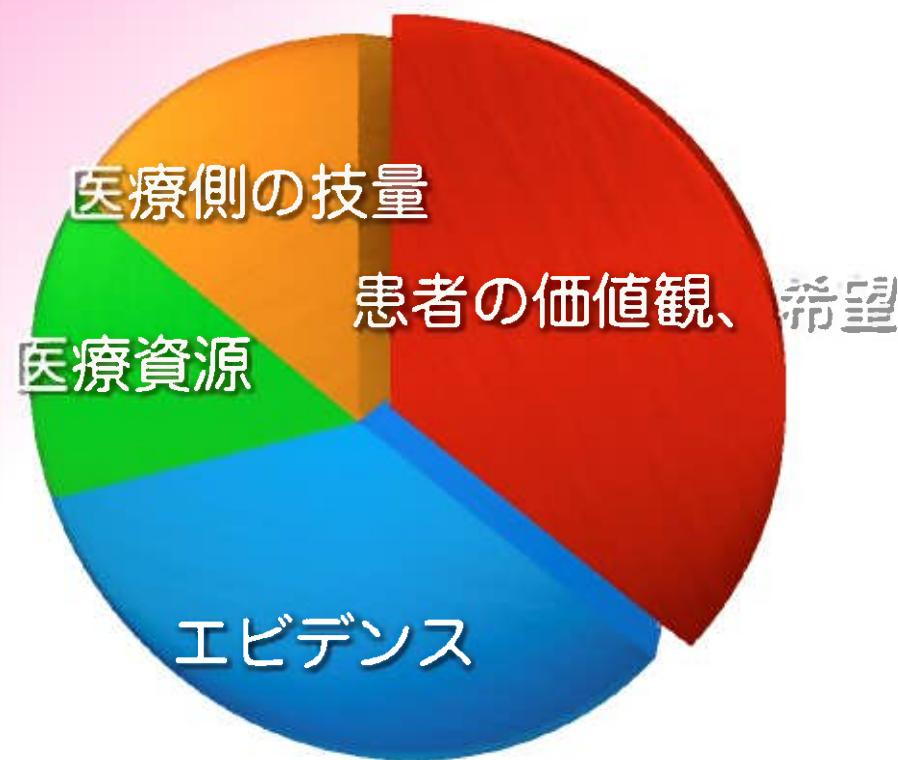
医療者側の技量

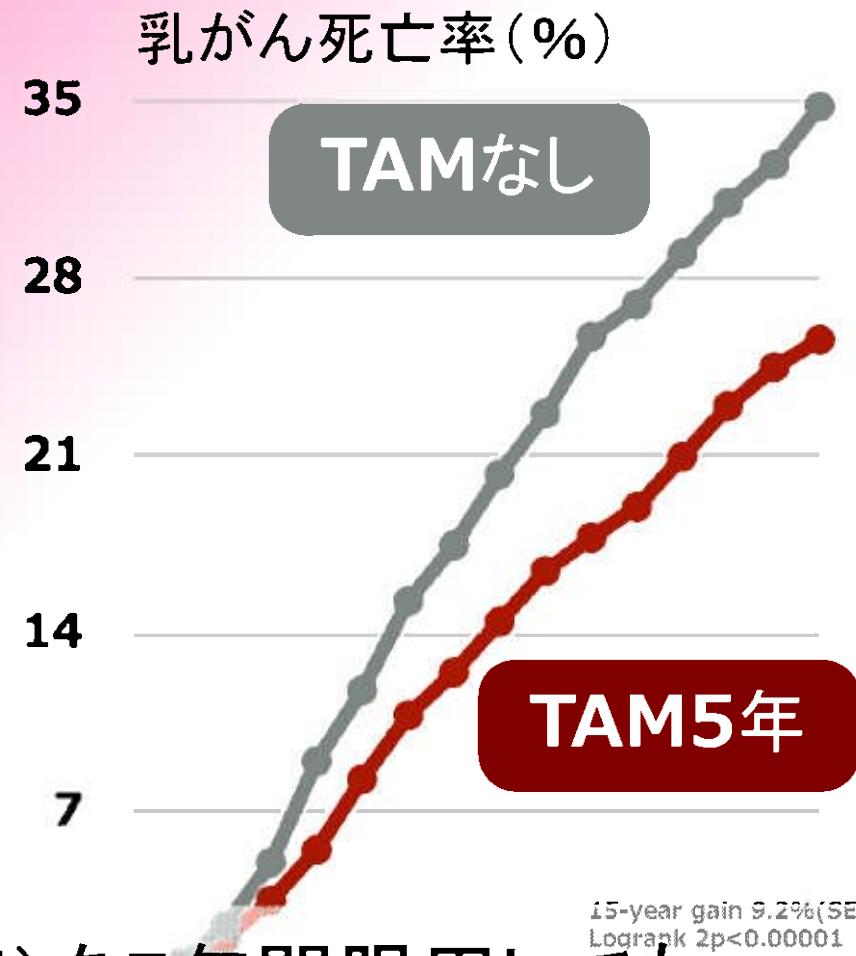
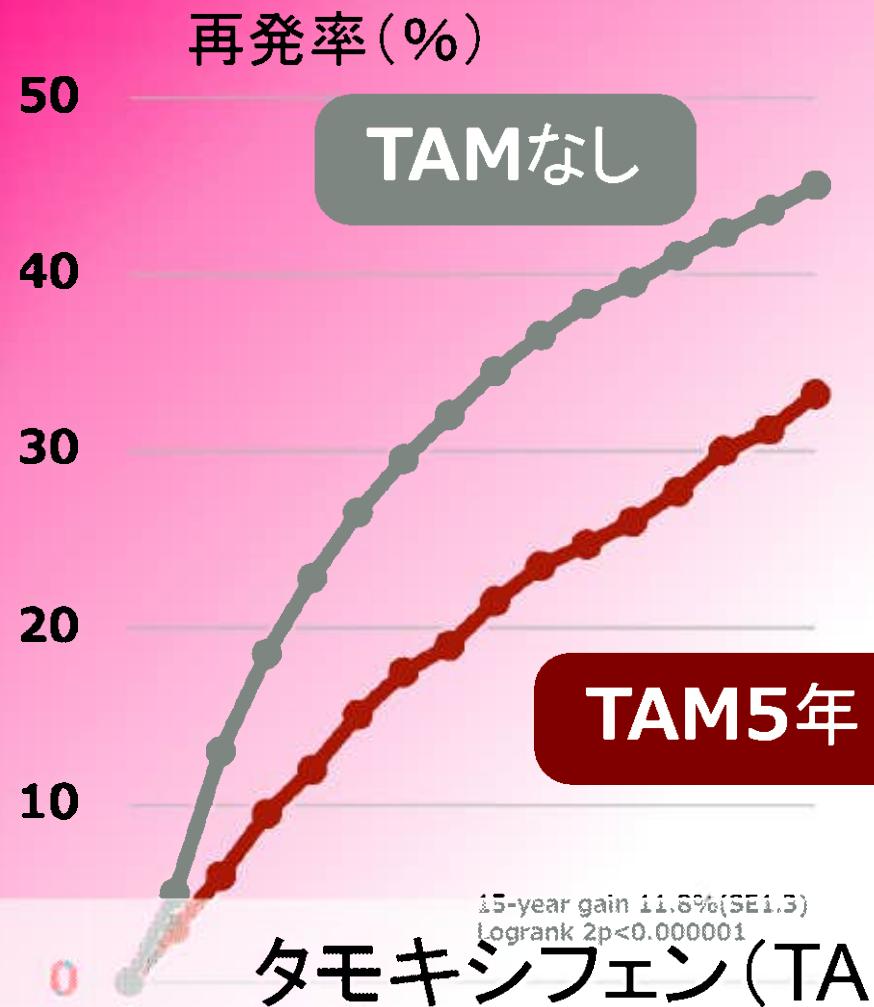
医療資源



# Evidence Based Medicine(科学的根拠に基づく医療)

- 乳がん治療の進歩に、患者の価値観と希望が大きく影響してきた。その典型が乳房温存療法である。今後、患者さんの価値観や希望が占める割合が益々大きくなつて行くと考えられる。
- 再発乳がんの医療において、患者の価値観、希望の比率がさらに大きくなる。





タモキシフェン(TAM)を5年間服用しても  
乳がん死亡率の差は10%未満です。  
TAMの治療を受けない人もいます。

Lancet,365,1687-1717,2005



乳がんの治療法が進歩し  
治療の選択が多様化、個別化しています





# 乳がん全身療法薬

1960

1970

1980

1990

2000

2010

卵巣摘除術

ホルモン療法

タモキシフェン 内科的卵巣機能抑制

アロマターゼ阻害剤  
(アリミデックス、アロマシン等)

シクロフォスファミド

メトレキサート フルオウラシル 他のフッ化ピリミジン系

ドキソルビシン

ドセタキセル

パクリタキセル

ピノレルビン

カペシタビン

TS-1

ジェムザール

アブラキサン

パラプラチニ

ハラヴェン

トラスツズマブ

ラバチニブ

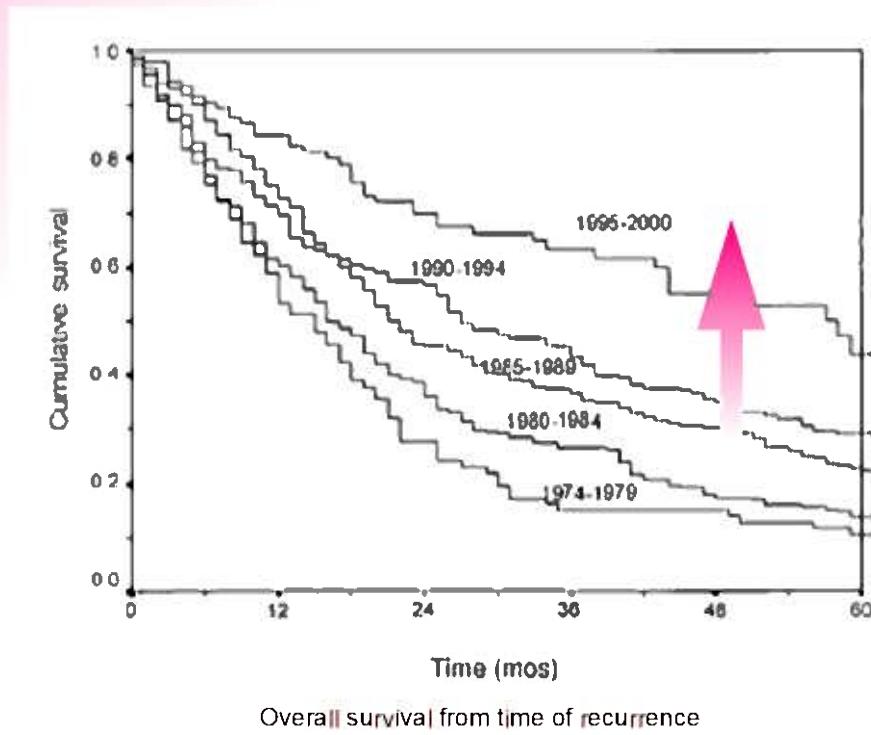
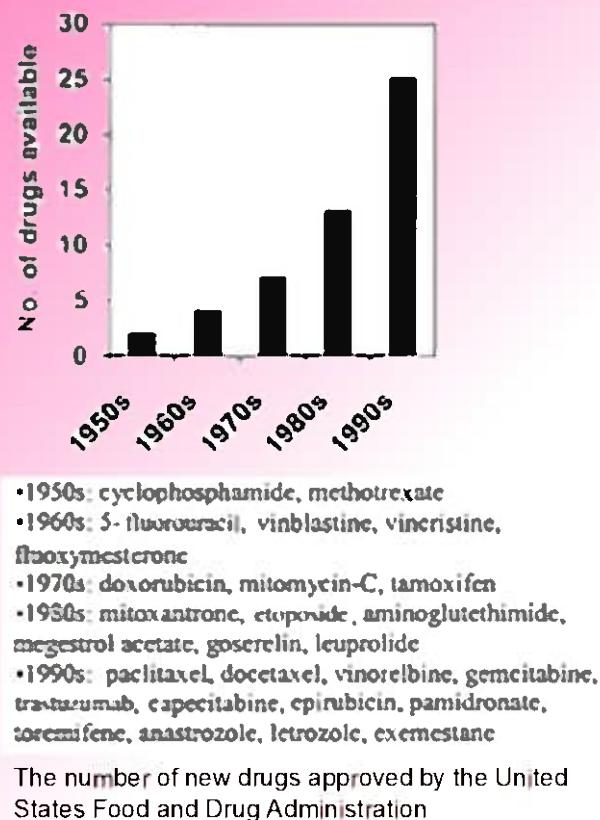
アバスチン

化学療法

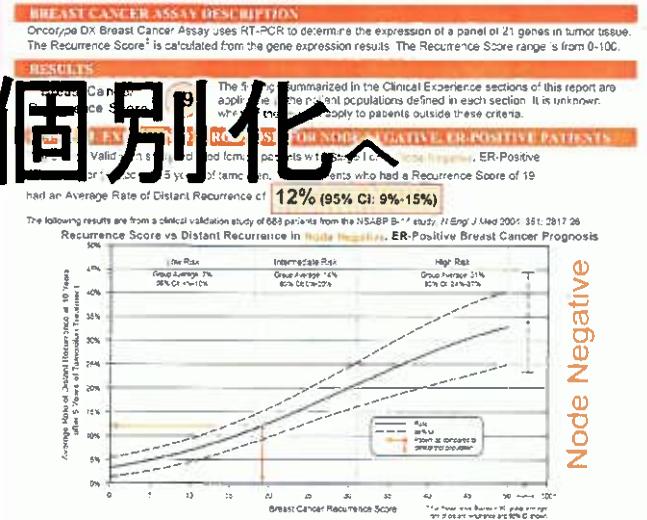
分子標的薬

# 乳がん治療薬の開発と乳がん再発後の生存率

- 1970年代以降、乳癌治療薬の開発が盛んになり、再発乳癌患者の生存率は向上。
- 現在も再発患者の治癒は困難である。



# 乳がん治療は標準化から個別化へ



欧米では、遺伝子検査を用いたオーダーメイド治療が始まっている。

Oncotype DX 21の遺伝子で再発リスクスコア  
MammoPrint 70の遺伝子で再発リスクスコア



# まとめ

乳がんは多様です  
患者さんの病状は多様です  
患者さんの考え方、生き方は多様です  
それぞれの患者さんに適切な治療の選択が行われます  
乳がんの治療法が進歩し、治療の選択が多様化、個別化しています

ここに選択があります





ご静聴ありがとうございました